

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
理科指導法 Teaching Methods of Science Studies		児童教育学科 初等教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
講義	2	選択	西田 稔	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

〇コアカリキュラム：各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

全体目標：当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

(1) 当該教科の目標及び内容
 一般目標：学習指導要領に示された当該教科の目標や内容を理解する。
 到達目標：1) 学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。
 2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。
 3) 当該教科の学習評価の考え方を理解している。
 4) 当該教科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。

(2) 当該教科の指導方法と授業設計
 一般目標：基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。
 到達目標：1) 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。
 2) 当該教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し授業設計に活用することができる。
 3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。
 4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。

【全体目標及び概要】	
理科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容の背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。	
【一般目標及び到達目標】	コア目標対応
(1) 学習指導要領に示された教科の目標や内容を理解する。 1) 学習指導要領における教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解できる。	(1)-1)
2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解できる。	(1)-2)
3) 教科の学習評価の考え方を理解できる。	(1)-3)
4) 教科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。	(1)-4)
(2) 基礎的な学習理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。 1) 子どもの認識・思考・学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解できる。	(2)-1)
2) 教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用方法を理解し、授業設計に活用することができる。	(2)-2)
3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。	(2)-3)
4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けることができる。	(2)-4)

回数	理科指導法 授業内容 【西田稔】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応項目
1	小学校理科教育の目標と内容	(1) - 1)、 (1) - 4)	(1)-1)、4)
2	第3学年の理科教育と学習指導案の作成	(1) - 1)、 (1) - 4)	(1)-1)、4)
3	第4学年の理科教育と学習指導案の作成	(1) - 1)、 (1) - 4)	(1)-1)、4)
4	第5学年の理科教育と学習指導案の作成	(1) - 1)、 (1) - 4)	(1)-1)、4)
5	第6学年の理科教育と学習指導案の作成	(1) - 1)、 (1) - 2)	(1)-1)、2)
6	第3学年理科単元指導計画の作成	(1) - 1)、 (1) - 2)	(1)-1)、2)
7	第3学年理科評価計画の位置づけ	(1) - 1)、 (1) - 2)、 (1) - 3)	(1)-1)、2)、3)
8	第3学年理科授業の実際と振り返り	(2) - 3)、 (2) - 4)	(2)-3)、4)
9	第4学年理科単元指導計画と評価計画の作成	(2) - 1)、 (2) - 2)、 (2) - 3)	(2)-1)、2)、3)
10	第4学年理科授業の実際と振り返り	(2) - 3)、 (2) - 4)	(2)-3)、4)
11	第5学年理科単元指導計画と評価計画の作成	(2) - 1)、 (2) - 2)、 (2) - 3)	(2)-1)、2)、3)
12	第5学年理科授業の実際と振り返り	(2) - 3)、 (2) - 4)	(2)-3)、4)
13	第6学年理科単元指導計画と評価計画の作成	(2) - 3)、 (2) - 4)	(2)-3)、4)
14	第6学年理科授業の実際と振り返り	(2) - 3)、 (2) - 4)	(2)-3)、4)
15	授業における指導と評価	(2) - 3)、 (2) - 4)	(2)-3)、4)
定期試験	実施する		
成績評価方法	レポート（関心・態度・知識・理解・思考力）40%、模擬授業（関心・意欲・態度・技能）30% 定期試験（思考力・判断力・表現力）30%		
テキストおよび参考文献	『小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）』 『各学年理科教科書』 『小学校指導要領（平成29年告示）解説 理科編（平成29年7月 文部科学省）』		
メッセージなど	理科離れを防ぎ、理科好きな子どもを育てる楽しい理科教育の実践に取り組みましょう。 小学校教諭二種免許：選択必修科目		

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1) 学習指導要領における教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	学習レポート (知識・理解) 定期試験 (思考・判断・表現)	10%
(1)-2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	学習レポート (知識・理解) 定期試験 (思考・判断・表現)	10%
(1)-3) 教科の学習評価の考え方を理解できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	学習レポート (知識・理解) 定期試験 (思考・判断・表現)	10%
(1)-4) 教科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。	ほぼ完璧に説明でき、その活用もできる。	大きな間違いがなく、基本を説明し、活用ができる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	学習レポート (知識・理解) 定期試験 (思考・判断・表現) 模擬授業 (技能・表現)	10%
(2)-1) 子どもの認識・思考・学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	学習レポート (知識・理解) 定期試験 (思考・判断・表現)	10%
(2)-2) 教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用方法を理解し、授業設計に活用することができる。	ほぼ完璧に、活用することができる。	大きな間違いがなく、基本を説明し、活用ができる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	学習レポート (知識・理解) 定期試験 (思考・判断・表現) 模擬授業 (技能・表現)	10%
(2)-3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。	ほぼ完璧に説明でき、作成することができる。	大きな間違いがなく、基本を説明し、作成できる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を作成できる。	作成できない。	学習レポート (知識・理解) 定期試験 (思考・判断・表現) 模擬授業 (技能・表現)	20%
(2)-4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けることができる。	ほぼ完璧に実施することができる。	大きな間違いがなく、実施ができる。	間違いがいくつかあるが、最低限の基本を実施できる。	実施できない	学習レポート (知識・理解) 定期試験 (思考・判断・表現) 模擬授業 (技能・表現)	20%